

みんなの図書館

発行日 令和4年3月30日(水) (年4回発行)

第65号



発行者 木更津市立図書館

木更津市文京2-6-51

TEL 0438-22-3190

FAX 0438-22-7509

図書館の1年をふりかえって…



約1年ぶりに図書館でのおはなし会が再開され、おはなしや絵本を楽しんでくれる子どもたちに元気をもたらしました。

「れきおんミニコンサート」では、「音楽でめぐる世界旅行」と題し、世界各国の異国情緒たどよう音楽を楽しみました。

新たな事業として、「ブックスタートボランティア養成講座」も始まり、30人の申し込みがありました。

8月から図書館の定期休館日が月曜日へ変更になりました。

夏休み企画では、恒例の工作教室の趣向を変え、「俳句の短冊を作ってみよう」を開催しました。パスファインダー(作り方案内)と短冊を配布し、デコレーションした短冊の募集をしたところ、カラフルで素敵な俳句が集まりました。

図書館の仕事を体験する「半日図書館員体験」に「こわ〜いおはなし会」も盛況でした。東京オリ・パラ関連では、木更津市がホストタウンのナイジェリア共和国に関する展示を行い、異文化理解を図りました。



秋はイベントが目白押しでした。

こぐま社元編集者の関谷裕子さんをお招きしての「児童文学講座」、乳幼児期に言葉や絵本にふれる大切さを伝えた「絵本講座」、点字について学んだ「点字講座」、れきおんミニコンサートは木更津市民の日に開催し、「れきおんで聴く、木更津名物」とのテーマで木更津に関する音楽を楽しみました。

感染対策のため事前申し込み制で開催した「雑誌と図書のリサイクルフェア」、約1年ぶりの「大人のためのおはなし会」も好評でした。

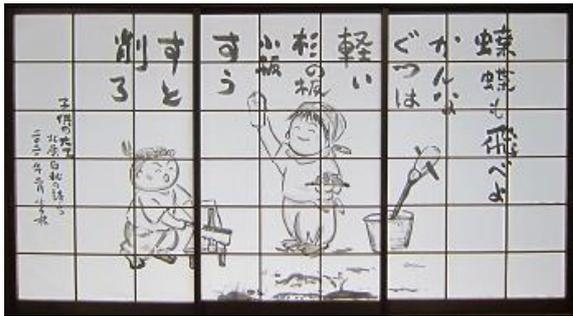
1月6日は数年ぶりの大雪に見舞われました。

1月、2月は木更津市立図書館電子図書開設1周年を記念した謎解きイベント「所々赤が入った電子図書 展示コーナーからの脱出」を展示コーナーで開催しました。

2月中旬から行った蔵書点検も無事に終わり、3月は春を感じるプログラムの「れきおんミニコンサート」と「大人のためのおはなし会」で楽しいひとときを過ごしました。



感謝がいっぱい！その1



おはなしの部屋の障子絵を描き12年 北原きりんさん インタビュー

←今年の作品

北原白秋の詩「子どもの大工」の一節とともに

図書館の駐車場に面したおはなしの部屋の障子に、元気の出る絵を描いてくださっている木更津市出身のアーティスト、北原きりんさんへインタビューを行いました。

◇絵を描き始めるきっかけを教えてください。

◆OLをしているときに、年賀状や熨斗をきちんと書きたいと思い書道を始めました。その書道をきっかけにもともと絵が好きなのもあり、墨やパステルなど画材問わず絵を描き始めました。

◇2010年12月から毎年継続して障子絵を描いてくださっていますが、図書館の障子に絵を描こうと思ったのはなぜですか？

◆図書館を利用して、いつもおはなしの部屋の障子がボロボロだなあと気になっていました。そんな時、障子に絵を描いていると子どもがいたずらをしなくなったと聞いて、図書館に申し出ました。墨で描くのは、色があせなく、絵を見た子どもたちが頭の中で色を想像してくれるためです。季節感を出さない、わかりやすい、子どもにも伝わる絵を心がけています。子どもたちが「わたしにも描けそう！」と楽しんでくれれば嬉しいです。



◇フランスやフィンランドなど海外の絵画展に出展し、入選や受賞をたくさんされていますが、日本との違いはどんなところですか？

◆海外は作品の力だけで勝負ができ、世界の芸術家、現地の人々と交流ができ楽しいです。フィンランドの作品展で受賞したときは、実際にフィンランドを訪問し、現地の小学校で児童たちと交流を深めました。異文化に触れるおもしろさを感じる一方で、日本の文化を再認識できとても有意義でした。フィンランドは人も優しく、自然も美しく、治安もよいので、ぜひ訪れてみてください。

◇読書家でもあるきりんさんですが、最後に好きな本を教えてください。

◆好きな本は、カミュの『異邦人』、パウロ・コエーリョの『アルケミスト』、エンリケ・バリオスの『アミ小さな宇宙人』、アクセル・ハッケの『ちいさなちいさな王様』、吉川英治の『宮本武蔵』、岸恵子訳で『パリのおばあさんの物語』、三浦綾子さんもよく読みました。

中学生の頃は星新一さんにはまりました。近年だと、長部日出雄の『まだ見ぬ故郷』や山本兼一の『利休にたずねよ』がおもしろかったです。昔の本は仕立てがよく、重厚な感じがして、作り手の心が伝わってきます。

インタビューを終えて・・・

スマホに保存されている作品の一部を見せてもらいましたが、障子絵とはまったく異なるタッチの絵もあり、その表現の幅広さに驚きました。明るいお人柄で話も盛り上がり、フィンランドで迷子になった思い出話なども聞け、とても楽しいインタビューとなりました。

北原きりんさんホームページ⇒<https://kirin-iro.art/kirin/>

感謝がいっぱい！その2

前号の図書館だよりでもお伝えしたとおり、トーヨーカネツ株式会社さんからのご支援を受け、児童室にトーヨーカネツ子ども文庫ができました。

ものづくりに関する本を中心に揃え、目印に本の背表紙には蛍光みどり色のシールを貼りました。話題のSDGs 関連の本もありますので、ぜひご覧ください。



イメージキャラクターのタンくんとブツリューが目印



今後のご支援を続けてくださるとのことですので、どんな本が増えていくのかお楽しみに！！

感謝がいっぱい！その3

平成30年から図書館蔵書の充実のためにご寄附をくださっている、石川侑理さんから今年度もご支援をいただき、社会福祉関連の本を充実させることができました。温かいお気持ちありがとうございます。

3月27日に感謝状の贈呈を行いました。

図書館利用の際には、職員に笑顔でお声がけをしてくださり、図書館を物心両面から応援してくださる石川さんの姿に職員一同元気をもらうとともに、その期待に沿えるよう魅力ある図書館を目指していきたいと思っております。



石川さんと森田館長

2階展示コーナー

図書館の2階ロビーの展示コーナーをご存じですか？

スペースは小さいながら、展示コーナーがあり、年に3回から4回、テーマを決めて展示をしています。

今年度は、東京オリ・パラ関係の展示、点字教室の開催に合わせ身の周りの点字を知ってもらう展示、電子図書開設1周年を記念した謎解き脱出ゲームを開催しました。



←1月から2月にかけて開催していた謎解きゲームの様子

まちがい探しやしりとりなどをしながら、謎解きをすすめていきます。

難易度が高かったようなので、今後小中学生向けの謎解きの開催を検討中です！

2月末から1週間ほど、東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレートーチの展示も行いました。北京オリンピックでの日本勢の活躍も記憶に新しく、多くの人が見学していました。



2階は参考調査室と郷土資料室があり、調べものがないと足を運ぶことも少ないと思いますが、図書館に来館した際はぜひお立ち寄りください。

令和4年度は木更津市制80周年を記念した展示を計画しています。

編集後記 ・ ・ 今年度はお知らせする内容の関係で4回発行予定が3回発行となってしまいました ・ ・

55号から図書館だより編集委員長（自称）を務めてきましたが、次号からまーさんにバトンタッチをします。毎回文字ギッシリで読みにくかったと思いますが、手にして下さったみなさまへ最大の感謝を！（めっち）今年度はなんとか通年開館ができた1年でしたが、そんななかでも図書館の行事に参加して下さりありがとうございます。新年度もどうぞよろしく願いいたします。（まー）